

ITO
JUKU

伊東建築塾

NPOこれからの建築を考える

2023年度ご案内



2023年度の活動に向けて

コロナが終息した訳ではありませんが、マスクを外してもよい生活がようやく戻ってきそうな気配です。私達の塾では、コロナ禍の間も極力対面での活動を重視してきました。五感を駆使した身体的コミュニケーションを大切にしていたからです。

公開講座では今年も好評にお応えして「～って何だろう」のシリーズを続けるつもりです。このシリーズは決して教養講座ではありません。各ジャンルで活躍されている講師の方々の仕事を通じて生き方や思想を語ってもらおうというものです。今年度も素晴らしい講師の方々に来ていただく予定です。

土屋恵一郎氏は法学が専門ですが、能に造詣が深く、その著『能』からは建築を考える上できわめて大きな影響を受けました。

有働由美子氏は現在「news zero」のキャスターとして活躍しておられますが、長くNHKの看板アナウンサーとしてテレビに関しては知り尽くしておられます。

北山恒氏の近著『未来都市はムラに近似する』に私は大変共感を抱きました。是非これからの都市について語っていただきたいと思います。

Moon&Jeon氏は韓国人アーティストですが、昨年金沢21世紀美術館で開催された映像中心の展示は日本人アーティストには見られまいアートの本質を極めていたように感じました。

田中拓也氏は昨年大三島の今治市岩田健母と子のミュージアムでサクソフォンのコンサートを催し、好評を博しました。是非東京でも開催して頂きたいと思い再びお願いした次第です。

子ども建築塾は2022年度も講師陣の尽力もあって順調な活動が出来ました。特に後期は初のグループ作業を行って成果をあげたようです。なお新年度から福岡でも実験的に子ども建築塾を立ち上げてみようと考えています。

2023年3月

NPOこれからの建築を考える

理事長 伊東 豊雄



伊東豊雄

1941年生まれ。建築家。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」(台湾)など。日本建築学会賞、ヴェネツィア・ビエンナーレ金獅子賞、プリツカー建築賞など受賞多数。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築を考える建築教育の場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムが建つ愛媛県今治市大三島においては、塾生有志や地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。

「NPOこれからの建築を考える」は、東京の伊東建築塾と、瀬戸内海の大三島にある今治市伊東豊雄建築ミュージアムを結ぶ新しい建築教育の場です。この二つの機関を運営するために2011年にNPO法人を立ち上げました。これからの時代や社会に要請される、優れた人々を育成することを目的とし、人や自然との関係を包括的に捉え直す思想に基づいた建築教育を行っていきたいと考えています。

組織

理事長：伊東豊雄

副理事長：太田浩史

理事：所 洋介、長谷川浩司、矢内原充志、
橋田光靖、藤原史宣、尾越 優、
泉 洋子、東 建男、岡野道子、
アストリッド・クライン、柴田淑子

監事：古林豊彦

会員数（2023年2月1日現在）

正会員：個人 118 名、団体 19 社 計 139 名

賛助会員：計 10 社

活動内容

A 伊東建築塾事業

①会員公開講座（年間6回開催）

さまざまな分野で活躍する講師を招くレクチャーシリーズ。

②子ども建築塾（前期・後期2期制、年間20回開催）

年間を通じて建築の基礎を学ぶ子ども向けの建築スクール。

B 今治市伊東豊雄建築ミュージアム企画運営事業

展覧会企画

講演会・セミナー・コンサート・ワークショップ企画

運営サポート

活動場所

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

アクセス：恵比寿駅より徒歩約13分

※駐車場はございません。

お車で越しの方は、お近くの
コインパーキングをご利用ください。



伊東建築塾 恵比寿スタジオ ©Kai Nakamura



子ども建築塾の様子



今治市伊東豊雄建築ミュージアム ©Kai Nakamura

NPOこれからの建築を考える 会員募集のご案内

会員種別・会費

会員種別	入会金	納入額
正会員（個人・団体）	0円	10,000円（年会費7,000円、寄付金3,000円） ※10,000円を超える金額をお支払いいただいた場合は 寄付金とさせていただきます。
賛助会員（個人・団体）	0円	年会費300,000円／口（1口以上）

- ・正会員は当法人の目的に賛同し、活動を推進する個人および団体の方です。
- ・賛助会員は当法人の目的に賛同し、活動を援助する個人および団体の方です。

会員期間

新規（1年目）の場合、入会日より1年間（入会月の翌年同月末日まで）有効。

継続（2年目以降）の場合、更新月の翌年同月末日まで有効。

会員特典

正会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回1名まで）
ただし、各回事前のお申し込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

賛助会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回2名まで）
ただし、各回事前のお申し込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・当法人のウェブサイト、会員様の法人名およびウェブサイトのリンクを掲載させていただきます。
- ・会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

入会・継続お申込みと会費納入方法

- ・当法人のウェブサイトの入会お申込みフォームに必要事項をご記入のうえ、送信下さい。
<http://itojuku.or.jp/course/a/form/>
- ・下記の銀行口座までお振込みにてお支払い下さい。

みずほ銀行 青山支店 普通 2041381

特定非営利活動法人これからの建築を考える トクヒ)コレカラノケンチュオカンガエル

- ※ 恐れ入りますが、振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。
- ※ お申込みフォームの受理とご入金確認をもって、入会・継続手続きが完了いたします。

会員公開講座

「～って何だろう？」

— 建築関係者に限らず、広く一般の方を対象として「これからの建築」のあり方を考えます。

塾長・モデレーター

「建築」って何だろうⅢ

伊東豊雄
(建築家)

Photo: FUJITSUKA Mitsumasa



今日私達はスマートフォン等の利用によって情報や知識が容易に手に入るようになった反面、物事について考えなくなってしまいました。「何故？」と問いかけることがなくなってしまったのです。

そこで本講座では著名な講師に御登場頂き、各専門分野の本質を子ども(小学生高学年程度)でも理解できるような平明さで語っていただこうとするものです。

講師(50音順)

「テレビ」って何だろう

有働由美子
(フリーアナウンサー)



NHKで27年間アナウンサーとして「おはよう日本」「サンデースポーツ」「ニュース10」アメリカNY特派員「あさイチ」や紅白歌合戦7度司会。五輪パラ現地キャスター7大会を経てフリーに。2018年より日本テレビ系「newszero」キャスター。文藝春秋「マイフェアパーソン」。ニッポン放送「うどうのらじお」他。東京大学大学院CIDIRで客員研究員。

「都市」って何だろう

北山 恒
(建築家)



1950年生まれ。横浜国立大学大学院修士課程修了。1995年architecture WORKSHOP設立主宰。2001～2016年、横浜国立大学大学院(2007年よりY-GSA)教授、2016～2021年法政大学教授。2021年awnに組織変更、代表。現在、横浜国立大学名誉教授、法政大学客員教授。代表作に「洗足の連結住棟」「HYPERMIX」など。著書に『未来都市はムラに近似する』など。

「音楽」って何だろう

田中拓也
(サクソフォン奏者)



東京藝術大学音楽学部および同大学院修了。第2回日本管打楽器コンクール第1位、並びに特別大賞を受賞。第6回アドルフ・サックス国際コンクール入賞。富岡祐子氏とのサクソフォンDuoでのCD「Ars」、ソロアルバム「FANTASIA CROMATICA」(レコード芸術誌特選盤)をリリース。平成30.31年度(財)地域創造公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。

「能」って何だろう

土屋恵一郎
(法学者、演劇評論家)



1946年生まれ。明治大学法学部教授、明治大学学長を経て、同大学名誉教授、千葉工業大学特別教授。哲学者中村雄二郎のもとでハンス・ケルゼン、ジェレミ・ベンサムなどの研究する傍ら、25歳から能を学び、芸術選奨選考委員、芸術祭審査委員を歴任する能研究家としても著名。また、最高級の能が観られる能楽の会「橋の会」を立ち上げ、20年以上に渡り、能のプロデューサーとしても活躍。

「アート」って何だろう

ムン・キョンウォン
チョン・ジュンホ
(アーティスト)



近年、学際的なプラットフォームをつくることに焦点を当てた共同プロジェクト「News From Nowhere」を活動の中心としている。最初のサイトスペシフィックな共同作品を2012年のドキュメントで発表。主な個展に2013年シカゴ美術館附属美術大学、2015年ミグロス現代美術館、2015年ヴェネチアビエンナーレ韓国館、2017年スカイ・ザ・バスハウス、2019年テート・リバプール、2021年韓国国立近現代美術館、2022年金沢21世紀美術館などがある。

開催日数

年間 全6回(土曜午後もしくは夜、1回あたり2～3時間を原則としています。)

※コロナウイルスの影響や都合によって変更の可能性がございます。

会場

伊東建築塾 恵比寿スタジオ
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

受講対象

正会員、賛助会員、塾生、TA

定員

60名

受講料

無料

申込方法

開催日の1ヶ月前までにご案内のメールを配信しますので、指定の方法にてお申込みください。

過去の講座のレポートは伊東建築塾のブログから
ご覧いただけます。
<http://itojuku.or.jp/blog/>



子ども建築塾

「いえとまちって何だろう？」

— 子どもたちの建築やまちに対する意識を高め、思考や表現の個性をのびします。

小学校高学年の児童を対象に、一年を通して建築やまち、環境について考えます。

前期は「いえ」をテーマに、住宅のスケールや模型のつくり方、発表の仕方などを学びながら、想像力あふれる「いえ」を設計します。後期は「まち」をテーマに、まちの成り立ちや公共空間、ランドスケープについて考えます。

テーマ

前期課題(4～9月) 『東京遊牧少年少女のいえ』

後期課題(10～3月) 『百人島Ⅲ』

講師

伊東豊雄
(建築家)



1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「多摩美術大学図書館(八王子キャンパス)」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」など。

アストリッド・クライン
(建築家)



クライン ダイサム アーキテクト(KDa)代表。共にRCAを修了したマーク・ダイサムと1991年に設立。主な作品に「代官山T-SITE／蔦屋書店」「GINZA PLACE」「星野リゾート リゾナーレ那須 POKO POKO」「toggle hotel suidobashi」など。www.klein-dytham.com

太田浩史
(建築家)



1968年東京生まれ。1993年東京大学大学院建築学専攻修士課程修了。ヌーヴ代表。東京ピクニッククラブ共同主宰。博士(工学)。主な作品に「Populou SCAPe」「久が原のゲストハウス」「矢吹町第一区自治会館」など。

柴田淑子
(建築家)



東京都生まれ。日本女子大学大学院修士課程修了。1999年より建築設計事務所エアーを共同主宰。子ども・教育に関する施設や寺院、住宅などの設計に携わる。主な作品に「真理学園幼稚園」「神田寺別院」など。

式地香織
(建築家)



日本女子大学大学院修士課程、伊東豊雄建築設計事務所を経て、フリーランス。大学におけるデザイン教育の経験と建築家としての職能を活かして、子どもたちの生きる力や場を育むべく、コドモチョウナイカイ事務局を設立。

時間・回数

隔週土曜日 13:00～14:30／15:30～17:00 全20回、2期制(前期10回 / 後期10回)

※授業内容により、曜日・時間を変更する場合がございます。

※原則として、一年間通塾いただける方のみお申し込みいただけます。

受講対象 定員

小学校高学年(4年～6年)の児童

36名

※定員を超えるご応募があった場合は、模擬授業による選考を行わせていただきます。

※模擬授業では、約1時間の間、出題されたテーマの「いえ」のスケッチを描きながら、講師が個別に対話を行います。

受講料

年間152,000円(月額11,000円×12ヶ月 + 教材費20,000円 / 年)

※通塾にかかる交通費は、別途ご負担ください。

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/children/form/>



TA（ティーチング・アシスタント）募集

— 塾生一人ひとりの特性や理解の度合いを把握し、学習や制作をサポートのお手伝いをお願いしています。

子ども建築塾では、TA(ティーチング・アシスタント)の募集をしています。塾生たちの授業のサポートをしながら、講師の建築家から直接レクチャーを受けたり、建築家が設計した建物を見学したり、子どもたちと一緒に建築を学べるだけでなく、大学や職場を超えた建築仲間ができるチャンスです！

TAにお願いしている3つのサポート



技術面のサポート

道具や材料選び、模型の表現方法、スケッチの描き方などのフォロー



ファシリテーター

先生方からのコメントの要約



授業準備

主に後期まち課題などのみんなで使う敷地模型の準備

TAになって経験できること



講師・TA間での意見交換

前期・後期の授業が始まる前に、TA向けの課題説明会を行います。
子どもたちが取り組む課題を事前に共有し、講師と意見交換を行います。



見学会の参加

課題に合わせた見学会を行っており、当日の引率を若干名にお願いしています。
※コロナウイルスの影響や授業内容により、中止となる場合もございます。



建築家の講師からの指導

授業内で行われる塾生向けの特別なレクチャーと一緒に聴講でき、日々の授業内でも、直接講師からレクチャーを受けられます。



TA間でのイベント企画

TA有志でのイベント企画も大歓迎です。過去には、見学会やピクニックに出かけたり、大学や仕事で取り組んでいることの発表会などを行いました。

時間・回数

隔週土曜日 13:00~14:30/15:30~17:00 全20回、シフト制

※コロナウイルスの影響や授業内容により、曜日・時間を変更する場合がございます。

対象

大学生以上

定員

なし

特典

会員公開講座の無料聴講（ご本人のみ）

交通費

各回500円支給

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/children/taform>



今治市伊東豊雄建築ミュージアムは、瀬戸内の美しい多島海の中央に位置する大三島に2011年に開館しました。主に展示に使用される「スチールハット」と、アーカイブの保存およびワークショップの場となる「シルバーハット」があり、伊東建築塾が取り組む大三島のまちづくりの活動を紹介する他、これからのまちや建築について考えるレクチャーや子どもを対象としたワークショップなど、さまざまな活動を行っています。



スチールハット ©Daici Ano



シルバーハット ©Daici Ano

2022年度のイベント



展示風景 ©Shuhei Miyahata

今治市伊東豊雄建築ミュージアム2022年度展覧会

子どもと共に建築を考える

会期: 2022年10月9日～2023年9月15日

設立時より取り組んできた「子ども建築塾」の11年間の活動を中心に紹介しています。各年度ごとの塾生のスケッチやプレゼンボード、模型などを展示するほか、印象に残る作品やエピソードなどを伺った講師やOBOGへのインタビュー映像をご覧ください。



制作風景 ©Kaako Yoshino

子どもワークショップ「シルバーハットにみんなで水族館をつくろう！」

日時: 2022年7月16日

講師: 廣岡周平

今治の小学1～6年生の子どもを対象に、子どもワークショップを開催しました。建築家の廣岡周平さんをお招きし、海の中にも環境の違いがあることや生物同士の関係性を考えながら、シルバーハットに1日限りの「水族館」をつくりました。



開催風景 ©Kaako Yoshino

サクソフォンコンサート「舞」

日時: 2022年11月5日

出演: 田中拓也

岩田健母と子のミュージアムにてサクソフォン奏者の田中拓也さんをお迎えし、バッハの無伴奏チェロ組曲を中心にワルツやロック、能からインスピレーションを得て作られた曲など、ジャンルを織り交ぜて演奏いただきました。